

松島町教育委員会会議議事録（令和6年10月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和6年10月25日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、櫻井智恵委員
- 4 説明のため出席した者
蜂谷文也教育次長兼課長、松村武文学学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、永沼昌一教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
 1. 開会 令和6年10月25日（金曜日）午前9時30分 開会 （録音開始）
 2. 前回委員会の議事録の承認
 3. 議事録の署名委員の指名 小澤委員・櫻井委員
 4. 報告事項
 - (1) 教育長職務代理者の指名について
 - (2) 一般事務報告
 - (3) 教育長報告
 5. 協 議 事 項
 - (1) 令和6年11月定例会について
日程案：令和6年11月29日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室
6. 閉 会

6 議 事 録

1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕皆さんおはようございます。（「おはようございます」の声あり）

これから松島町教育委員会令和6年10月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕はい。おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

何か暑い暑いと言ってもやはり秋になってきたと、朝晩特に秋らしいと思うようになってきましたが、まだまだ水筒を持って学校に登校している子どもたちもいるので、油断できないなと思いながら、2学期、長い学期なんですけれども、行事が粛々と終わっております。中学校では運動会、小学校では学習発表会、それから幼稚園では歯の指定の公開とか、続々終わりながら、子どもたち、成すことによって学ぶというか、勉強だけじゃなくてそういう行事を通して学ぶこともたくさんあるということで、これからはいろいろ子どもたちの活躍をご紹介しますので、今日もどうぞよろしくをお願いします。

〔金津主査〕ありがとうございました。

2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、9月定例会及び臨時会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

定例会終了後に署名をお願いいたします。

3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は小澤委員と櫻井委員を指名させていただきます。よろしくをお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 教育長職務代理者の指名について

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 教育長職務代理者の指名についてです。

先月9月の町議会定例会におきまして、鈴木康夫委員及び佐藤晴子委員の教育委員としての再任について、議会より同意を得まして、9月27日の教育委員会定例会後に町長から辞令を交付させていただいております。

なお、鈴木委員及び佐藤委員の新たな任期は、令和6年10月1日から令和10年9月30日までとなります。

本日は、鈴木委員の教育長職務代理者としての任期が満了しましたことから、新たに教育長職務代理者の指名を行うものであります。

それでは、教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕それでは、私のほうから「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項に規定する教育長職務代理者について、引き続き鈴木康夫委員を指名したいと思います。よろしくをお願いします。（「お願いします」の声あり）

ちょっと説明させていただきますけれども、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」というのがございます。これによって職務代理者を決める必要があり、教育長に事故があるときに、または教育長が欠けたときには、あらかじめその指名する委員がその職務を負うということになります。もし何か私にあれば、鈴木先生が職務代理者ということで決裁を押す。

今利府町がそのような状態になっております。教育長が不在ということですね。

どうぞ鈴木康夫委員さんには引き続きぜひお願いしていただきたいと思います。それでは鈴木委員さんから一言お願いします。

〔鈴木委員〕はい。恐らく何もないんでしょうけれども…。利府ではそうなんですか。

〔内海教育長〕そうなんです。そういう話なんです。

〔鈴木委員〕はい。よろしくどうぞお願いします。（「よろしくをお願いします」の声あり）（拍手）

(2) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして、2番、一般事務報告に移ります。

初めに、学校教育班から報告をお願いいたします。

〔松村班長〕はい。それでは資料3ページになります。

行事報告からご説明いたします。

初めに9月分です。

28日に各幼稚園におきまして運動会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、園児もけが等なく、無事に終了しております。

また、29日にかけて、仙台北地区中学校新人体育大会が開催されました。なお、今回の新人大会から全ての競技におきまして、これまでの宮城郡単位から仙台北地区単位に範囲が広がり、開催となっております。結果につきましては、本日お配りしておりますこちらの資料のほうに記載しておりますが、網かけをしております個人8名と2団体が県大会出場を決めております。

次に10月分です。

4日に全国町村教育長会第2回理事会が東京都で開催され、教育長が出席しております。

10日に令和6年度地方教育行政功労者表彰式が文部科学省で開催され、教育長が文部科学大臣より表彰を受けております。

19日に各小学校で学習発表会が開催されております。

また、20日に中学校で運動会が開催されており、当日は若干肌寒かったものの、天候自体には恵まれ、事故等なく、無事に終了しております。

23日、宮城県市町村教育委員会協議会第2回教育長部会が自治会館で開催されております。

行事報告については以上です。

引き続きまして、資料4ページの主な行事予定についてとなります。

初めに10月分です。

29日、就学時健康診断を予定しております。来年度小学校に入学予定の73人が受診する予定となっております。

次に11月分です。

6日、第1幼幼・保・小連絡協議会を大会議室で開催予定です。小学校へのスムーズな入学が図られるよう、幼稚園、保育所、こども園、小学校間での情報共有や連絡調整を図ることを目的として実施するものとなっております。

7日から8日にかけて、東北町村教育長連絡協議会第2回役員会が青森県八戸市で開催予定です。

11日、宮城県教育委員会教育懇話会全体会議が県庁で開催予定です。教育長が出席予定となっております。

26日、宮城県町村教育長会の役員会及び研修会を文化観光交流館で開催予定であり、本日、お手元のほうに通知のほうをご用意させていただいておりますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

学校教育班からは以上です。

〔金津主査〕続きまして、学校給食センターからお願いいたします。

〔熊谷所長〕それでは、5ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事について報告いたします。

10月24日、松島第一幼稚園の年長園児と保護者で試食会を実施いたしました。

続きまして、行事予定について説明いたします。

10月28日に、第五幼稚園の園児と保護者で試食会を行う予定です。

29日は、就学時健康診断の際に、事前に配付しておりますアレルギー調査票を回収しながら、給食説明会を行います。

11月5日は、栄養教諭による食育指導を第一小学校の3年生を対象に実施いたします。

11日から15日を地場産品活用週間としまして、宮城県産と松島産の食材を積極的に取り入れた献立を提供し、おいしいふるさとの料理を味わいながら、興味や関心を高めてもらえるようにいたします。

13日は、第一幼稚園の年少・年中園児と保護者で試食会を実施する予定です。

18日が、9月に松島中学校の1年生を対象に実施しました食育指導で、生徒が考案した献立のまずは第1弾としまして、「たんぱく質で筋肉をつけようメニュー」を提供いたします。こちらピンクの献立表も、18日、裏面の右中から下にかけて、こちらのほうが内容になっていまして、今回は1年2組が考えた献立のメニューで、あと12月、1月も続けまして実施する予定となっております。

以上となります。

〔金津主査〕それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)
佐藤委員

学校教育班と、それから給食センターと、それぞれお教えいただきたいことがございます。
まず学校教育班のことにつきましては3点ございます。

1点目は、活躍ということで、運動会とか、それから新人大会、それから学習発表会と、子どもたちのまさに活躍の場がこのたびいろいろ予定されて、実施されたということで、健やかな成長、それから保護者の皆様へのご理解をいただくためにも、本当にすばらしい企画を確実にやっていただいているなというふうに思いました。特に学習発表会につきましては、松島のよさというところが結構組み込まれていて、例えば「アイライク松島」とか、それから「バックトゥザフューチャー」ということで、松島一小で太鼓があったりとか、いろいろそういった松島を愛する子どもたちというところを、確実に松島のよさというところで組み込んでいただいているところがすばらしいと思いました。

それから2点目がICTの活用と協働的な学びというところで、ホームページを拝見いたしますと、本当にタブレットを随分活用されていると感じました。そして、4人グループでもいろいろ話合いをしているところがまさに今の教育で求められているところというところで、とてもよいなと思いました。

そこで、ここで1点ご質問なんですけれども、このICTの活用状況とかにつきまして、教育委員会さんで何か押さえているところがありましたらお教えいただければと思います。

あと3点目、交流保育ということで、こちらは高城保育所と、それから五幼のほうで交流保育があったということがホームページにアップされておりました。これから見据えて、入学前にいろんな交流をしたりとか、今後生きる活動を確実に取り組んでいただいていることに感謝しているところです。

次に、学校給食センターのほうで2点お話しさせていただきます。

1点目は献立の工夫ということで、中学生が考えたメニューであったり、あと「りっちゃんのげんきサラダ」ということで、まさに教科書にある、1年生の国語にある「サラダでげんき」の中身から工夫されていたことが、とても子どもたち、うれしいですし、「しっかり「りっちゃんのげんきサラダ」を食べよう！」ということにもなったと思いますので、これからもぜひこのような企画をお続けいただければと思います。

それから2点目です。親子の触れ合いということで、給食試食会が一幼であって、そして子どもと親が対面で食事をして、笑顔でここにこしながらおいしそうに食べていたので、ご家庭ですとなかなかちゃんとした時間も取れなくて、ばたばたしている部分もあるご家庭もきつとおありだと思うので、こういった企画が親子の触れ合いに確実に、子どもたちの心にも、お母さんと一緒にうれしいなとか、おうちの人と一緒にうれしいなという気持ちにもなりますし、あとは給食についての、食育についてのご理解をいただけるということからも、ぜひこちらもお続けいただければと思います。

では、ICTのほうだけよろしく願いいたします。

松村班長

では、ICTの活用状況ということでのご質問なんですけれども、まず各授業において積極的にタブレットのほうは活用しているような状況になっております。

また、中学校におきましては、毎日持ち帰りもするような形で使っておりまして、ただ、ちょっと小学校に関しては、やはり持ち帰ると破損とかの危険性というか、そういうのもありますので、小学校に関しては宿題とかで使う場合、例えば音読とかをタブレットの前で行い、それを担任に送って、それを担任が確認するような、そのような形で活用しているような形になっております。

以上です。

佐藤委員

いろいろ進んでいらっしゃると思いますので、引き続きあくまでもツールとして、道具として、ふだん使いしていけるといいのかなと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

以上です。

内海教育長

あと、ICT支援員がうちの場合にはいますので、他市町村にもいるけれども全部埋まっているわけじゃなくて、その方の活躍も。

蜂谷教育次長
兼課長

そうですね、週4回ですか、各校を回っていただいております、そこで各授業とか生徒指導に当たって、課題があった場合は活用方法について気軽に質問できる体制を取っていただい

まして、ふだん使いということもあったんですが、例えば共同で学んで、それを発表する機会とかも、ほとんど今はタブレットを使っていて、生徒がそれを使う、我々よりも上手に発表、使いこなしているなという感がございました。

佐藤委員 確実に子どもたちも力をつけていて、あとちょっと不具合があったときはすぐ支援員さんに対応していただけるのは心強いと思います。

ありがとうございます。

内海教育長 あともう一つ、熊谷所長さん、この試食会で、一緒に入ったわけじゃないけれども、親御さんの感想とか何かはあるの。それは聞いてない。

熊谷所長 今回は聞いてないです。

内海教育長 幼稚園の先生に後で聞いておきます。

はい、どうもありがとうございます。

佐藤委員 とてもにこにこ笑顔だったのですね。

内海教育長 表情はよかったですね。

佐藤委員 うれしいんだって。

小澤委員 内海教育長のご質問でちょっと思いついたんですけれども、給食を残す子どもたちもいるんですか。それともほぼ完食、あるいは残す子どもたちは体格的にといいですか、食の細い子どもたちもいると思うんですけれども、傾向として残す子どもたちは多いのか、残す子どもたちにはどういう対応をしているのかということをご参考までに教えていただければと思います。

熊谷所長 出たものが全て空になって帰ってくるということはありませんので、幾らか、うちのほうでは指導とかはできないんですが、昔のように全部完食というわけではありませんで、好き嫌いをしているのか、量的に残しているのかということまではちょっとこちらのほうでは把握していないんですが、何かしらは必ず日々残ってくるものがありますし、あと、給食というのは小中学生が基本になっていまして、松島は幼稚園にも出していますので、幼稚園は小学校低学年の量とか、決まった量、既定の量を最小限にしてもちょっと多いという部分、牛乳とかも200だとちょっと多いとかというのもあるようですので、幼稚園のほうはなかなか、必ず完食する量といえは汁物とかおかずは調整できるんですが、ご飯とかパンというのなかなかそれ以上小さくできなかったりするの、毎日必ず残ってくるものはございますけれども、基本的にはなるべく残さないように食べていただくようにちょうどよくとか、あと今回裏面にもあつたりしますが、学校のほうでも好き嫌いをなく食べましょうということで、栄養教諭から食育してもらおうということで、すみません、これには載っていないんですが、今度の一小の3年生も残さず食べるためにはどのようにとか、栄養とか必要だよという講義とか、食育をしていただきたいという要望も学校側からもありまして、そういったもので、なるべくバランスよくこちらは提供していますので、食べていただくように促進はしていきたいという考えではおります。

蜂谷教育次長 補足で。栄養教諭からお話を聞くと、野菜とかが多いときは少し残りが多くなかなということがあったので、その辺については栄養指導とか、学校で栄養教諭を配置していただいておりますので、バランスのよい食事ということを指導していただければいいかなというふうに考えております。

鈴木委員 それは、時間になったら食事は終わりですよとするわけですよ。個別のアドバイスという対応はしていないんですね。

蜂谷教育次長 個別には今はしていません。

兼課長

鈴木委員 やらないんですね。この人だけはほとんど残しているな、だから何かとかという、そういうのはあえてしていない。

蜂谷教育次長 そうですね。していません。

兼課長

熊谷所長 担任の先生や養護教諭さんから相談を受けたらとかというのはあります。

鈴木委員 家庭から相談を受けたらという対応ですね。

熊谷所長 そうだと思います。こちらに最終的に回ってきたときは、食べ残しよりは逆に肥満とかで相談という感じが。

鈴木委員 肥満。

熊谷所長 ええ。あったんですが、食べ残しは多分全体的に……。

鈴木委員 個別対応はしていないということですね。

熊谷所長 していないので、クラス単位とか学年単位で食育を施されているということです。

鈴木委員 そういう対応ですか。了解しました。

内海教育長 一つ言い忘れた。4ページの第1回幼・保・小連絡協議会、これはうちの松村班長さんのほうからお話がありましたが、小学校に入る前にある程度条件というか、どういうことを学んだらいいのかということのをそろえるために、今回から初めて取り組むもので、さっき佐藤晴子先生からもお話ありましたように、保育所と幼稚園のカップリングとか、永沼先生がこれを主導していただいて、1回目、いい資料を作ったので、そのうちお見せしたいと思うんですが、認定こども園の子どもたちが小学校に来る、保育所から来る、幼稚園から来るということで、やっぱりある程度前提条件をそろえないと、1年生に入ったときに、学年の1年担任の先生がでこぼこにならないようにするためにということで、そういうことで共通の理解を図るということで、今年が目玉になるかもしれない。実質的には来年から本格的にスタートするんですが、今キックオフがスタートしたというところがございますので、あと情報を流しますので、どうぞ、もう学校はここから始まっているんだぐらいの気持ちで見ていただくとありがたいです。

以上でございます。

櫻井委員 鈴木先生のお話から、給食のことだったんですけども、個別の指導の話で、以前に私が聞いた話にはなってしまうんですけども、中学校で給食が食べられない子がいて、そこに対して、何ですかね、嫌いとかじゃなくて心の問題で食べられなくていた子がいて、それに対して給食の時間中ずっと先生が、監視じゃないですけども食べるまで見ているみたいなことがあったらしくて、それでなおさら食べられなくなってしまうみたいなんです。そういうことも個別で任せると、先生よっての指導の差というか、そういうのもあるので、ちょっとそこは、ケース・バイ・ケースだとは思いますが、そういうときはこういう対応をしたほうがいいよみたいなことは、ある程度一貫性を持って、授業だけじゃなくて、食べることに對しての指導のほうも入っていただけたらいいんじゃないかなと思いました。

熊谷所長 私はちょっと実際に入っていないんですけども、学校の養護の先生と栄養士が入って、毎月ですかね、保健委員会というのをやっています、その中でいろんな分野の中で給食に対して情報交換じゃないですけど意見交換は、月か隔月だと思うんですが、そういうのはやってはいますので、そういうところで話題提供とかしていただければ、共通認識でやっていただけたらと思いますし、そこを通さないと私もちょうと情報をつかめないの、基本的に学校だと担任の先生、養護教諭に相談していただいた方で、それプラス保健師とか、あと栄養教諭とかのほうに来るといふ流れかと思っておりますので、そういったものがあれば対応していきたいと思っておりますので。

櫻井委員 最近の、直近の話ではないんですけども、何年か前の話なので。

鈴木委員 その連携って大事ですよ。多分いろんなメンタル面、今メンタルな面で食べられない子どももいるとか、やっぱりそうすると給食指導の先生とか担任の先生とかとの連携って必要かもしれないですね。

内海教育長 そういうことは本当はあってはいけないんですけどもね、ぎりぎり追い詰めるまでね、食の管理も徹底的にしてしまうと、それで不登校になったりすることもあるので、どういう状況なのか私も分からないですけど、残すにしてもちょっと箸をつけてから残しなさいとか、全く手をつけないんじゃないかとね、そういうような指導をして、あとそういう問題があるのは校長会とかで随時見てねということで徹底したいと思っておりますので。あと何かそういうお話があったらすぐ伝えてください。対応しますので。

〔金津主査〕 続きまして、生涯学習班より報告をお願いします。

〔齋藤班長〕 続きまして、生涯学習班の主な行事報告について説明いたします。

資料のほうは6ページをご覧ください。

10月3日に宮城県巡回小劇場演劇公演を文化観光交流館で開催しました。町内の小学校4・5年生178名が、北海道札幌市を拠点に活動している劇団風の子北海道による演目「めっきらもっきらどおんどん」を鑑賞しております。

次に、行事予定にも渡りますが、10月23日の「松島まるごと学 品井沼干拓学習」を皮切りに、2学期の「松島まるごと学」関連行事を11月14日まで順次実施してまいります。

続きまして、行事予定について、主な内容について説明いたします。

10月30日・31日の2日間にわたり、松中2年生81名を対象に先月実施しました「職業人の話を聞く会」の継続関連事業として、「松島まるごと学 職場体験」を行います。内容につきましては、26施設・店舗に1グループ3名程度でお邪魔をして、現場での仕事を体験する予定となっております。

次に、11月24日に第44回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）が、今年度も松島の文化観光交流館前をスタート地点として開催されます。

また、このクイーンズ駅伝に関連して、11月12日にコース整理員説明会を開き、コース整理員として松島町スポーツ協会構成団体メンバーをはじめ、トヨタ自動車の社員の方々などに協力をもらうこととなっております。

生涯学習館の行事報告及び行事予定については以上となります。

〔金津主査〕続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕はい。町史編さん室の資料は7ページになります。

行事報告につきましては、10月9日水曜日、全国史跡整備市町村協議会総会・研修会を多賀城市ほかで行っております。松島町におきましても、雄島を会場にエクスカッションということで30名から40名のお客様を2日間に分けてご案内したところでございます。

続きまして、12月19日土曜日に第5回の歴史体験ボランティア養成講座といたしまして、先ほどの生涯学習班の資料と重複しますが、二市三町連携事業の縄文土器作り体験で、土器の野焼きにつきましてボランティアの力を借りて実施したところです。様子は町の公式フェイスブックにも掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

続きまして、行事予定のほうです。

こちら、ちょっと記載が間に合わなかったんですが、11月22日金曜日に第6回の歴史体験ボランティア養成講座を実施する予定にしております。内容は古文書の撮影を実施する予定です。

以上です。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕8ページのほうをご覧ください。

まず行事報告でございます。

10月6日、陸上自衛隊東北方面音楽隊の松島ふれあいコンサートが交流館のほうで開催され、320名ほど参加がありました。

以下は記載のとおりとなります。

行事報告につきましては、本日チラシのほうを配付させていただきましたが、10月27日、2024松島町文化観光交流まつりが交流館のほうで開催される予定です。

そのほか、記載のとおりでございます。11月16日ですけれども、町民の森で「春まちガーデン」ということで、球根の投げ植えをしまして、親子参加を今募っております。来年の春、町民の森にたくさん花が咲くようにと、今計画しているところでございます。

以上でございます。

〔金津主査〕それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館等からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

生涯学習班のほうにお教えいただきたいことが1点ございます。

10月3日の巡回小劇場につきまして、子どもたちの様子であったり感想とか、何かお持ちであったら教えていただきたいと思っております。

齋藤班長

こちらのほうにつきましては、私も現場のほうは行きましたが、子どもたちはやはり目の前で演劇をされているということで、大分歓声があがるなど、楽しみながら鑑賞しておりました。

以上です。

佐藤委員

なかなかこういう劇場とか、そういう文化的なものを見る機会があるようではなかったり、やっぱり格差がいろいろあるかなと思っておりますので、こういったことが子どもたちの心の育ちであったり、あとは学習発表会も、自分たちもそういうふうな演劇を見て自分の演技にも生かしていこうとか、そういうことにもつながると思っております。これからもぜひこういったことを企画していただきながら、よろしくお願ひしたいと思います。

齋藤班長 はい。ありがとうございます。
内海教育長 事前に観劇のマナーとか、あとは拍手のタイミングだとか、そういうのを指導してもらってから入るようには言っておきましたので。
 また、舞台の上ではなくてフロアでやるもので、近い。ああいう仕立ても珍しかったですね。
佐藤委員 やっぱりそういうマナーの確認も大切ですよ。
 ありがとうございます。

(3) 教育長報告

〔金津主査〕続きまして(3)教育長報告についてです。内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕それでは、私のほうからお話しさせていただきます。

10月8日に全国町村教育長第2回理事会ということで、東京都のほうで会議をしてきました。その中で、文科省からもらった資料で愕然としたのをまず皆さんにお話しして、その現状がうちの町にも大きく影響を及ぼしているなどということをお伝えしたいなと思って、今日、この資料を出しました。

11ページを御覧ください。

2023年、今2024年なんですけど、1年前から10年たつと、60万人が日本全国で亡くなるというか、減るんだそうです、出生率が。亡くなった人もいるんですけども、60万人が減になると。これは今の鳥取県一つがなくなるぐらいの勢いなんだそうです。

そして、最後に見てください。2083年、私は生きていませんけれども、この人数がもはや極端、151万4,000人ぐらいまで落ち込むということで、これは何かちょっと、本当なのですかみたいな感じですけども、ごめんなさい、中学生の世代ですね、そのぐらい子どもたちが少なくなっていくということになっておるそうです。

それから、次のページをご覧ください。12ページです。

運動部に加入している中学生の推移ということで、令和5年と平成25年、例えばサッカーは25万8,291人がサッカー一部に入っていましたけれども、令和5年には15万7,170人まで子どもの数が減りました。割合は39.15%です。軟式野球、大谷翔平さんの人気でもっとありそうなんですけれども、人気は高いんですけどもやる子どもがいなくなっている。24万5,219人から13万3,725人で、マイナス45.47%、ほぼ半分が減ったということになる。

それから柔道ですが、これなんかもマイナス35%。

それから、相撲はどっちかという相撲部があるという県が珍しいんですけども、これなんかもほとんど廃部状態、51%というような状況になっているということです。

次の資料をご覧ください。

子どもが減ったからどうなるのかということ、令和5年になってくると、右のデータのほうがあればなんですけれども、軟式野球なんかはもう合同チームだらけ。うちはまだ軟式野球は松島中学校として単独でやれますけれども、子どもの数が少ないところは松島中学校プラス何中学校、何中学校みたいな合同のやつ、これが急激にはね上がっています。同じように、サッカーもご覧ください。サッカーもぐーんと上がっています。バレーボール、バスケット、ソフトボール、今後こういう部活動は、存続はしていくんでしょうけれども、合同チームで、松島中学校プラスアルファが全国大会に行きますみたいな感覚になってくるんでしょうけれどもね。

それで、お話しさせていただきます。

ここからさらにうちの学校の様子ということで、松島五小は前もお話したように子どもの数が減ってきて、来年から複式が2つになります。2年と3年で1組、4年・5年で1組。県にお願いして、加配というのをもらおうと、どっちか1つが解消されます。けれども、加配がないとするならば、多分来るとは思うんですが、ないとするならば2つ複式学級が出てくるという形になります。

それで、一番しんどいのが2年と3年の複式学級です。片方では九九をやって、片方では掛け算をやると。3年生は掛け算、2年生は九九ということで、その指導が非常に難易度が高いということと、あと生活科から3年生になると理科と社会に分離していきますので、そこら辺の指導の高い先生じゃないとここは難しいということになってきて、今でも実は松島第五小学校は複式学級が1つあるんですけども、加配をもらって、単学級にしているところなんですけど、来年は複式が2つになるということをまずご承知おきいただければと思います。

それで、この前蜂谷次長と松五小のPTAの保護者に、複式になりますよという説明と、複式を解消するために、避けるために、小規模特認校制度と。松島五小に入る子どもたちの学区を外して、一小からも五小に入れますよ、二小からも五小に入れますよというようなやり方の説明をしてきました。無理に行いコミュニティーを壊すよりは、ゼロだったらゼロでもいいですけども、取りあえず小規模特認校制度を教育委員会のほうではやって、対

応じていきたいなと思っているのが1点でございます。

2つ目は、松中です、松島中学校。来年度から2年・3年が2組になります。2組です。そうすると、3色の運動会は来年はもうできなくなるということです。混乱しないように言うつもりなんですけれども、1年生も実は2クラスになっております。でも、県からの弾力化というので加配をもらっているんで、何とか3クラスになっており、実は今加配をもらわなければ1年生2クラス、2年生2クラス、3年生も来年は2クラスというような状態になります。赤と青とか。校長先生が学校運営協議会の皆さんに説明し、またこれから来年のことについて説明をしていきますが、運動会とかいろいろ縦割りの場合、縦割りというか、そうですね、縦割りの場合、なかなかしんどいところも出てくると。

ですので、中学生が10年間で60万人減ってしまうというのは、あながちどこかの県の話ではなく、松島町におきましても非常に影響を及ぼしてきていると。じゃあ松島町だけですかという、他市町村も同じように学校再編の話が頻繁に出ております。事務所の定例教育長会議でもその話が話題になってきますので、これから10年の間にいろんな動きが出てくると思います。教育委員の皆様には随時、細かいこともお話しさせていただきますけれども、ご理解いただきますようお願いしたいなと。五小とか松中とか、この頃どんどん実績を上げてきて、子どもたちの学力も高くなっているんで、ぜひそれを落とさない程度に何かいい案を考えていきたいと思います。

もちろん部活動の地域移行なんていうのもそのうちの一つになっていきますので、地域移行より学校が存続するかという話も私は強いんじゃないかと思うんですけども、ひとつまた、ここで議論するのもあれなんですけど、いろいろ情報を流しますので、あとまた考えていただいて、対応というか、対応は私たちがしますけれども、いい知恵があれば教えていただければと思います。

以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。

それでは、ただいまの教育長からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

〔内海教育長〕大学もそうなんじゃないですか。宮城大学も東北福祉大学も、子どもの数がどんどん減っているのではないかと。日本全国、子どもの数がね。出生率も1%程度だそうですね。一人っ子になっちゃいますよね。

そういうことで、ぜひまた何かいろんなところから情報があつたら、私たちにも分かち合っていただければと思います。

以上です。

5. 協議事項

(1) 令和6年11月定例会について

日程案：令和6年11月29日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室

〔金津主査〕続きまして5番、協議事項に移ります。

令和6年11月定例会について、日程案としまして11月29日金曜日、午前9時30分から301会議室で予定しております。こちらの日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

6. 閉会 午前10時15分

〔金津主査〕それでは、松島町教育委員会令和6年10月定例会を閉会いたしますので、閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりよろしくお願いいたします。

〔鈴木委員〕はい。秋も真っ只中に入ってきて、今年も子どもたちの活動報告をいただきました。

そしてまた今教育長から、これは本当に深刻な問題ですね。本当に子どもたちの数が減ってきて、松中、五小、その対応ですね、教育の在り方ですね、教育案、小規模特認校を五小でやるわけですけども、これ本当にその対応策というのももしかしてどんどん、今いろいろ取組もやり始めているわけですけども、考えていかなきゃならないというご報告もいただきました。

今のところはしっかりと取り組んでおられる話も聞いておりますので、今後ますます前向きに進めていかなければならないというふうに、そのとおりにかというふうに思ひまして、よろしく今後とも活動をお願いしたいなというふうに思います。

今日はどうもありがとうございました。

これ、今日の新聞にも入っていました。

〔内海教育長〕ぜひお時間のある方は27日、投票日になっていますけれども、早めに投票を済ませて……。あと、外では産業まつりというのをやっていますので、ネギを持ちながら、買いながら、これを見るとかというの。はい、どうもありがとうございます。

〔金津主査〕以上をもちまして10月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和6年11月29日

委 員

委 員